

2019年4月22日

2018年度 埼玉東上地域大学教育プラットフォーム (TJUP) 活動報告書

1. TJUP 発足の経緯

平成30年度私立大学等改革総合支援事業タイプ5を契機とし、埼玉県東上地域を中心とする大学・短期大学において、同支援事業タイプ5の申請に向けた「研究会」という形で情報共有や意見交換を進め、2019年8月1日付で埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（以下、TJUPと称する）の発足に至った。

2018年度のTJUPに関する事項は、次のとおり。

(1) 会員校 18 大学・短期大学 (50 音順)

埼玉医科大学、埼玉医科大学短期大学、城西大学、城西短期大学、女子栄養大学、駿河台大学、西武文理大学、大東文化大学、東京家政大学、東京電機大学、東邦音楽大学、日本医療科学大学、日本工業大学、武蔵丘短期大学、明海大学、山村学園短期大学、立正大学、埼玉県立大学（オブザーバー校）

（十文字女子学園大学（2019年4月1日付））

(2) 自治体 13 特定地域（北方面順）

熊谷市、滑川町、東松山市、吉見町、坂戸市、鳩山町、毛呂山町、越生町、鶴ヶ島市、入間市、日高市、狭山市※、飯能市

(3) 自治体 7 準特定地域※（北方面順）

川越市、所沢市、川島町、嵐山町、ときがわ町、小川町、寄居町

(4) 企業等 2 特定企業

TDU 産学交流会、株式会社ベルク

※2019年3月31日時点での協定未締結を示す。

2. TJUP 基本方針及び中長期計画

「地元で生まれ、地元で育ち、地元で生きていく若い世代への支援」のビジョンのもとに「多様な高等教育」「生活しやすい地域づくり」「地域産業の活性化」を掲げ、自治体と地元企業とともに地域活性化を目指したプラットフォームとする。

また、地域課題を分析するために、各種調査・分析（地域の人口変動分析、地域の自治体・企業アンケート調査、共同IR調査、高等学校調査、学術分野マップ分析）を実施した。この調査・分析に基づき、次の課題を認識のうえ、様々な取組みを展開していくこととした。

【課題】

- ・人口減少、少子化問題（特に 20 歳代の転出が顕著）
- ・大学教育の新しい教育及び質向上
- ・連携教育（研究も含む）の重要性
- ・初等・中等教育と高等教育の連携
- ・自治体における健康促進に高等教育が連携
- ・産業振興、企業誘致

以上の課題解決に向けたロードマップについて併せて策定したものを「基本方針」とし、その後の一部修正を経て、TJUP の「中長期計画」として定めた。

TJUP 中長期計画は別紙 1 のとおり。

3. TJUP 規程

TJUP の円滑な活動を担保するとともに、対外的な説明責任や今後の発展に資する体制整備なども含めた規程を策定した。

TJUP 規程は別紙 2 のとおり。

【2019 年度 TJUP 運営幹事校】

代表校	1 校	任期 2 年	東京電機大学
副代表校	1 校	任期 2 年	城西大学
事務局長校	1 校	任期 1 年	東京電機大学
幹事校	若干校	任期 2 年	東京電機大学 (WG2 リーダー校) 城西大学 (WG1 リーダー校) 大東文化大学 (WG3 リーダー校) 女子栄養大学 (WG4 リーダー校) 武蔵丘短期大学
会計担当校	1 校	任期 1 年	女子栄養大学
監事	2 名	任期 2 年	駿河台大学、坂戸市

4. TJUP 活動報告

2. に掲げた地域課題を解決するため、「多様な高等教育」「生活しやすい地域づくり」「地域産業の活性化」の 3 つの要点に基づき、4 つのワーキンググループ（以下「WG」）を構成した。そのうえで、全ての会員校がいずれかの WG に所属する形とし、各々の特徴を生かした活動を展開していくこととした。

2018 年度においては、数値目標を掲げた活動をはじめ、TJUP 全体及び各 WG の取組み等を順次進めた。TJUP の活動状況は次のとおり。

※従前より各校で実施する取組みを TJUP での取組みと見做したものは割愛する。

(1) 数値目標に対する活動状況

No.	担当	取組内容	数値目標	達成度	実施状況	備考
1	基盤(全体)	特定地域との協定推進	50%以上	◎	92%	13特定地域中12特定地域と協定締結済み。
2	基盤(全体)	市民フォーラムの開催	1回程度	△	25%	実施構想を2019年度年間スケジュールで提示済み。
3	基盤(全体)	TJUP大学入試説明会	1回程度	△	25%	・入試情報一覧をHPにて周知済み。 ・2019年度各学園祭にて情報提供予定。
4	基盤(全体)	eラーニングの推進	1回程度	×	0%	検討に着手できていない。
5	WG1	対象分野における連携教育の必要性の検証	1回程度	○	100%	共同FD/SDにて検証実施済み。
6	WG1	WG参加校の増加	1校以上	×	0%	増加に至っていない。
7	WG2	各校での履修証明の設置	1つ以上	×	0%	設置に至っていない。
8	WG2	自治体連携の協議	1回程度	×	0%	検討に着手できていない。
9	WG3	地域イベントへの教職員・学生派遣	100名程度	△	25%	学園祭お訪ね隊(会員校の教職員)の計画策定済み。
10	WG3	健康増進事業の実施	1事業	△	25%	「わくわく健康ランド」(複数大学による合同の健康増進事業)の計画策定済み。
11	WG4	地域産業活性化に係る自治体等との連携協定	1自治体	×	0%	検討に着手できていない。
12	WG4	地域産業活性化に係る企業等との連携協定	2団体程度	○	100%	TDU産学交流会、ベルク糖との協定締結済み。

(2) TJUP 全体の活動

① 単位互換

TJUP 単位互換は、TJUP 会員校の特徴ある教育を通して、「地元で生まれ、地元で育ち、地元で生きていく若い世代への支援」を実現する考えのもと、次の目的を掲げ TJUP 単位互換を運用していくこととした。

- ・ TJUP 会員校の特色を活かした「多様な高等教育」を共有することにより、「生活しやすい地域づくり」や「地域産業の活性化」に資する学修の機会を学生に提供する。
- ・ 学生の幅広い視野を育成するとともに、学生の学習意欲の向上を図る。
- ・ TJUP 会員校間の相互の協力交流を通じ、教育課程の充実を図る。

また、単位互換の実質化に向けた運営の実現を検討し、事務手続きの効率化やシラバスの一元 WEB 掲載等を図り、2019 年度は以下の 10 大学・短期大学で単位互換を実施することとした。

西武文理大学、武蔵丘短期大学、山村学園短期大学、駿河台大学、
東京家政大学、大東文化大学、城西大学、城西短期大学、女子栄養大学、
東京電機大学 計 10 大学・短期大学 (TJUP HP 掲載順)

② 2019年度学園祭連携事業

① 学園祭お訪ね隊

TJUP 会員校の有志教職員により各校の学園祭を巡る企画とし、各校の学園祭情報を学内外に積極的に発信することで来場者数の増加を図り、地域活性化に繋げていく企画を実施する。

また、この取組みは TJUP 会員校間の教職員協働によるものであり、実施後の参加レポート及び報告書の作成と併せて報告会をも実施することから、参加者の人材育成 (SD) に資するものとする。

② 合同入試広報ブースの設置

各校の学園祭において TJUP 合同入試広報ブースを設置し、TJUP 会員校の入試情報の資料を来場者に配付することで、合同入試広報を実施する。

③ スマートフォン、SNS 等を活用した TJUP 広報(来場記念イベント)

(a) スタンプラリー

各校の学園祭において QR コードを用いたスタンプラリーを実施し、複数の学園祭に来場した方々に TJUP オリジナルの記念品を贈呈し、各校の来場者数の増加を図り、地域活性化に繋げていく。

(b) SNS を活用した広報

“早く”、“広く” TJUP を世間に知ってもらうため、若い世代にターゲットを絞った即効性のある SNS を利用した広報を各校の学園祭のスタンプラリーと並行して実施し、参加者に記念品を贈呈する。

③ 海外協定校スタディーツアー (仮)

2020 年度に TJUP 会員校の教職員を対象とした海外協定校スタディーツアー (仮) の実施するための企画を立案した。このスタディーツアーを通して、海外大学の様々な取り組みを学習し国際比較を通して TJUP の活動に活かしていく。

また、海外大学の教職員との人材交流、現地での異文化交流を行うことで、参加者の人材育成 (SD) に資するものとする。

④ 「子ども大学」の取組み

TJUP の各会員校と関連する自治体とで実施している「子ども大学」の取組みについて、取組みの現状を把握したうえで、今後の発展的な展開等について検討を進めていくこととした。

⑤ 他の地域プラットフォームの取組みの情報収集

京都コンソーシアム FD (2019 年 3 月 2 日、3 日) に参加し、今後の TJUP の活動に資する情報収集を行った。

(3) WG の取組み ★リーダー校

WG1	IPE (Interprofessional Education) ・ IPW (Interprofessional Work) プログラムの発展的展開
WG の目的	会員校の関連分野における連携力育成に必要な情報を共有し、既に連携教育が行われている医療福祉分野だけでなく、様々な分野に対して発展的に連携教育を展開すること。また、対象となる分野の連携教育の方略を検討すること。
所属会員校	城西大学*、埼玉医科大学、日本工業大学、東京電機大学、埼玉県立大学
2018 年度の取組み	①第 1 回共同 FD/SD (2018 年 12 月 15 日) 参加大学数：5 大学 参加者数：16 名 「彩の国連携力育成プロジェクトの現状と今後」 「工学系における IPE ・ IPW の可能性について」 の説明があり、ヒューマンマインドケアを中心に据えた多分野との連携の可能性等、活発な意見交換を実施した。 ②埼玉県立大学創立 20 周年記念「彩の国連携力育成シンポジウム」(2019 年 3 月 10 日) を開催した。
WG2	履修証明型市民・町民大学の提供
WG の目的	メンバー校が独自に開設する履修証明プログラムを紐づけることによって、分野横断型の多彩な学習プログラムを構築して、市民・町民大学として提供すること。また、これを通じて学び直しの促進、若者の地元定着に寄与すること。
所属会員校	東京電機大学*、城西大学、城西短期大学、西武文理大学、山村学園短期大学、武蔵丘短期大学
2018 年度の取組み	①第 1 回共同 FD/SD (2019 年 1 月 10 日) 参加大学数：9 大学・短期大学 参加者数：24 名 「履修証明制度の概要」 「各大学・短期大学の事例紹介」 「履修証明制度を用いた市民・町民大学構想」 の説明・報告があり、各大学・短期大学での科目の連携を見据えた勉強会を開催することとした。 ②TJUP 履修証明プログラムの勉強会に向けた情報収集実施 (2019 年 2 月 18 日～2019 年 3 月 20 日)

WG3	生活しやすい地域づくりの推進
WG の目的	メンバー校及び特定地域が互いに有する諸種の資源を提供し、それらを有効に活用することにより、地域及び教育機関の活性化を目指す。
所属会員校	大東文化大学*、埼玉医科大学、埼玉医科大学短期大学、城西大学、城西短期大学、女子栄養大学、駿河台大学、西武文理大学、東京家政大学、東京電機大学、東邦音楽大学、日本医療科学大学、武蔵丘短期大学、明海大学、山村学園短期大学、立正大学
2018 年度 of 取組み	<p>①地域リスクマネジメント</p> <p>機能別消防団についての情報交換会（2019年1月25日） 参加大学数：10 大学・短期大学 消防組合等：坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部、 西入間広域消防組合消防本部、 比企広域市町村圏組同比企広域消防本部、 埼玉県危機管理防災部</p> <p>各消防団の現状や機能別消防団の取組状況等について説明があり、設置（発団）に向け意見交換を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダー校による個別訪問（5 大学）を行い、今後の進め方等をヒアリングした。（2019年2月13日～28日） ・埼玉県危機管理防災部との協議（2019年3月7日） <p>②健康増進法事業の検討</p> <p>臨床検査技師等の医療職種への興味喚起を目的とし、来場者に業務や資格取得等を説明し、健康面の測定を即席で実施する「わくわく健康ランド」（埼玉医科大学、大東文化大学、城西大学、女子栄養大学）を女子栄養大学若葉祭（2019年5月25日・26日）にて実施することとした。</p> <p>③地域連携等のイベントの実施</p> <p>会員校が実施したイベントは別紙3のとおり。 ただし、既存の協定等に基づいて実施している取組みについては、現在体制の整理に向けて検討中</p>

WG4	地域産業活性化
WG の目的	先端産業のみならず、地域独特の産業を振興するために大学、自治体、企業が連携し、当該地域経済を活性化させ、雇用を促進すること。
所属会員校	女子栄養大学*、城西大学、駿河台大学、東京電機大学
2018 年度 の 取 組 み	①企業等との折衝 地域産業活性化に資する地元企業との協定締結に向けた折衝を適宜実施している。

(4) その他

TJUP のさらなる発展を目指し、現在の特定地域・準特定地域に隣接、関連する大学及び自治体、企業等との協定締結に向けて、適宜折衝を進めていく。

5. 会議実績

(1) 研究会

- ・第 1 回研究会 (2018 年 6 月 29 日 於：オルモ (坂戸市文化施設))
- ・第 2 回研究会 (2018 年 7 月 26 日 於：オルモ (坂戸市文化施設))

(2) TJUP 発足式 (2018 年 9 月 14 日 於：東京電機大学埼玉鳩山キャンパス)

(3) TJUP 連絡会

- ・第 1 回連絡会 (2018 年 8 月 24 日 於：女子栄養大学坂戸キャンパス)
- ・第 2 回連絡会 (2018 年 9 月 14 日 於：東京電機大学埼玉鳩山キャンパス)
- ・第 3 回連絡会 (2018 年 9 月 28 日 於：オルモ (坂戸市文化施設))
- ・第 4 回連絡会 (2018 年 11 月 8 日 於：オルモ (坂戸市文化施設))
- ・第 5 回連絡会 (2018 年 12 月 14 日 於：オルモ (坂戸市文化施設))

(4) TJUP 単位互換

- ・第 1 回実務者打合せ (2019 年 2 月 19 日 於：女子栄養大学坂戸キャンパス)

(5) TJUP 幹事会

- ・第 1 回幹事会 (2018 年 12 月 6 日 於：女子栄養大学坂戸キャンパス)
- ・第 2 回幹事会 (2019 年 3 月 4 日 於：オルモ (坂戸市文化施設))
- ・第 3 回幹事会 (2019 年 4 月 15 日 於：大東文化大学板橋キャンパス)

(6) TJUP 運営協議会

- ・第 1 回運営協議会 (2019 年 3 月 25 日 於：女子栄養大学坂戸キャンパス)

6. その他

TJUP の取組みは、平成 30 年度私立大学等改革総合支援事業タイプ 5 (スタートアップ型) における共通設問において、ほぼ全ての要件を満たし採択された。

同支援事業タイプ 5 の採択一覧は別紙 4 のとおり。 以 上